

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり今年の累計は5件となりました。

例年、気温が高い時期に感染者が多くなる傾向があり、注意が必要です。感染予防を徹底しましょう。(次頁参照)

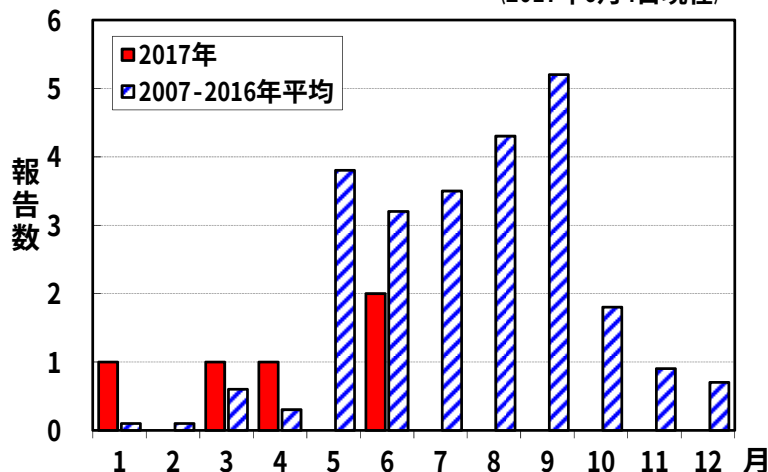
2. 手足口病

定点当たり5.17人と、3週続けて増加しています。

手足口病、咽頭結膜熱やヘルパンギーナは、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。感染予防には、日頃からのしっかりとした手洗い、排泄物の適切な処理が大切です。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)

(2017年6月4日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	0.25		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.67	
小児科	咽頭結膜熱	20	0.83	0.58	↗	小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	96	4.00	2.93	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	159	6.63	8.21	↗	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.64	
	水痘	7	0.29	1.00	↓	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	124	5.17	0.62	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.16		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	10	0.42	0.67		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.07		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	12	0.50	0.44							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	61	女性(40歳代)・推定感染地域:国外・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	女性(10歳代)・O26・1人、女性(30歳代)・O26・1人
5	アメーバ赤痢	1	7	男性(60歳代)
5	播種性クリプトコックス症	1	1	男性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レン サ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	感染性 胃腸炎 (ロタ ウイルス)
報告数	広島市	第18週	24	21	57	89	10	84	1	1	-	2	3	6	-	7	-	1	-	4
		第19週	14	19	77	144	13	68	1	11	-	1	5	2	-	1	-	1	-	2
		第20週	3	22	77	162	2	89	2	6	1	5	10	2	-	7	-	1	-	1
		第21週	4	17	98	162	16	108	4	13	-	9	2	3	-	6	-	-	-	2
		第22週	1	20	96	159	7	124	-	10	-	12	3	3	-	7	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第18週	0.65	0.88	2.38	3.71	0.42	3.50	0.04	0.04	-	0.08	0.13	0.25	-	0.88	-	0.14	-	0.57
		第19週	0.38	0.79	3.21	6.00	0.54	2.83	0.04	0.46	-	0.04	0.21	0.08	-	0.13	-	0.14	-	0.29
		第20週	0.08	0.92	3.21	6.75	0.08	3.71	0.08	0.25	0.04	0.21	0.42	0.08	-	0.88	-	0.14	-	0.14
		第21週	0.11	0.71	4.08	6.75	0.67	4.50	0.17	0.54	-	0.38	0.08	0.13	-	0.75	-	-	-	0.29
		第22週	0.03	0.83	4.00	6.63	0.29	5.17	-	0.42	-	0.50	0.13	0.13	-	0.88	-	-	-	-
	全国	第20週	1.05	0.65	3.17	7.30	0.35	0.86	0.08	0.57	0.01	0.19	0.60	0.23	0.02	0.82	0.03	0.04	0.22	0.49
		第21週	0.68	0.91	3.26	7.23	0.51	0.97	0.10	0.58	0.01	0.23	0.46	0.22	0.01	0.87	0.01	0.04	0.24	0.42

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 気管支炎 肺炎	4	男	2017/04/09	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型 ライノウイルス
手足口病	発熱 発疹 口内炎	1	男	2017/04/16	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	丘疹 水疱	0	男	2017/04/19	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.8) 肺炎 肝機能障害	1	女	2017/04/09	咽頭拭い液 鼻汁 糞便	ライノウイルス アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 肺炎	0	男	2017/04/11	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	肺炎	0	女	2017/04/14	咽頭拭い液	百日咳菌 ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	咳嗽	4	女	2017/04/16	咽頭拭い液 鼻汁	コクサッキーウイルスA6型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 発疹 気管支炎	2	男	2017/04/19	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA9型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 上気道炎	0	男	2017/04/20	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎 気管支炎 鼻炎	11	男	2017/04/25	喀痰	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛 腸重積	3	女	2017/04/19	糞便	アデノウイルス31型
その他の疾患	発熱(38.6)	0	男	2017/04/24	糞便 鼻汁	Eコウイルス25型

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

[参考] 腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して二次的に感染します。特に乳幼児や高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。

予防のために、次のことに特に注意しましょう。

- トイレの後、調理の前、食事の前には手洗いを励行しましょう。
- 食品は衛生的に取り扱い、調理器具はよく消毒しましょう。また、肉・レバーなどは中心部まで十分加熱し、生食は控えましょう。
- オムツの取り扱いには十分注意しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第22週(5月29日～6月4日)